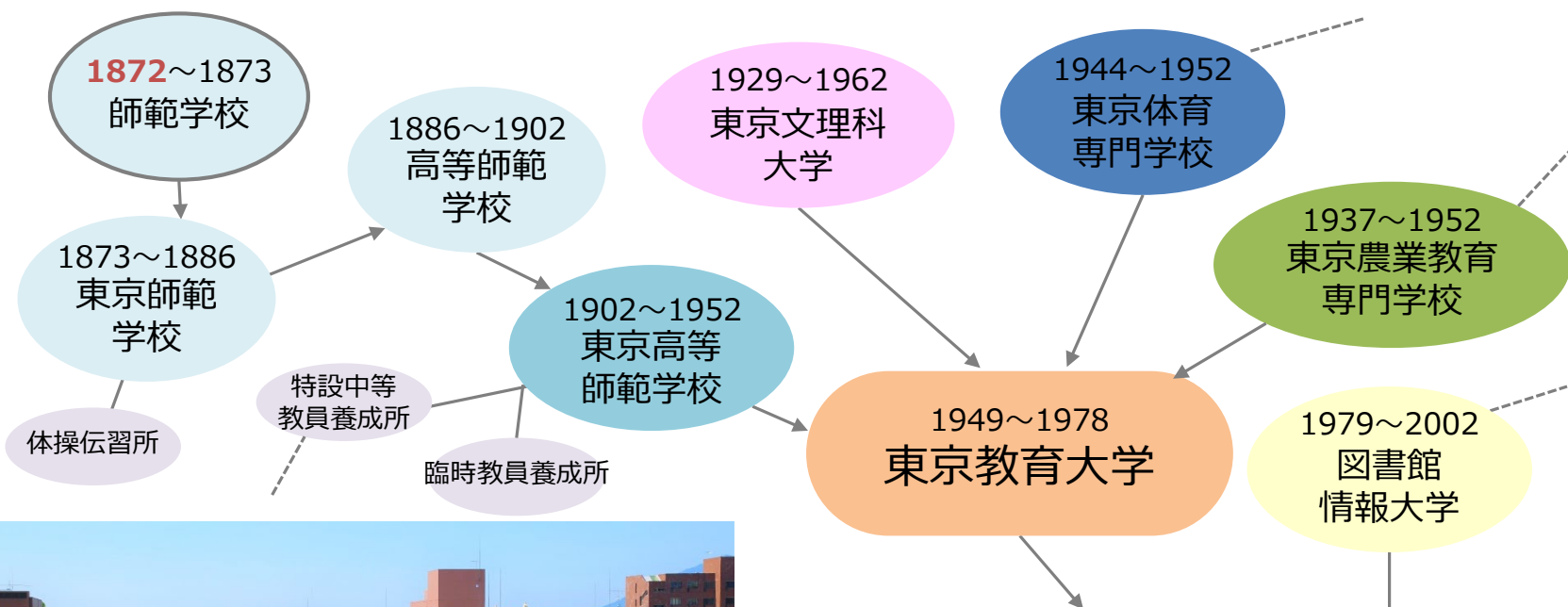


令和6年度 筑波大学職員採用説明会 大学概要紹介

1.筑波大学の沿革

「開かれた大学」「教育と研究の新しい仕組み」「新しい大学自治」
を特色とした総合大学



1973~2004.3 筑波大学

2004.4~ 国立大学法人筑波大学

2023年に創基151年 開学50周年

2.筑波大学の資源

豊富な資源

人的資源

- ◆ 総学生数：16,655名（学群学生9,635名、大学院生7,020名）
- ◆ 常勤教職員数：5,395名
- ◆ 外国人留学生数：2,399名
- ◆ 11附属学校児童・生徒数：3,989名 ※いずれもR5.5.1現在

物的資源

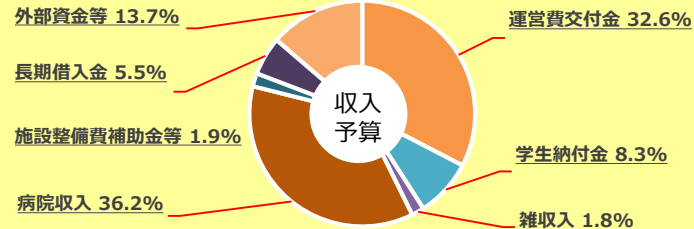
- ◆ キャンパス…筑波キャンパス（南北約5km、約258ha（東京ドーム約55個分））
東京キャンパス
- ◆ 附属学校（11校）…先導的教育拠点、教師教育拠点、国際教育拠点
- ◆ 附属病院…県内唯一の特定機能病院、県内初の高度救命救急センター
- ◆ 附属図書館…中央図書館と4館の専門図書館、蔵書数約260万冊（電子ブック除く）

経済的資源

- ◆ R5年度学内当初予算(収入)：1,096億円

主な内訳

- ・ 運営費交付金：357億円
- ・ 附属病院収入：396億円
- ・ 外部資金：150億円



筑波研究
学園都市

=

日本最大の
最先端研究開発拠点

- ・ 国立の研究機関の約3割が集積
- ・ 約2万人の研究者が研究活動

3.筑波大学の研究

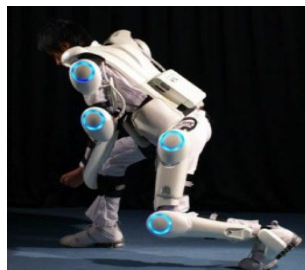
高度で先進的な研究力

ゲノム編集技術でGABAを高めたトマト「シシリアンルーージュ・ハイギャバ」



人工知能に関する先進的研究を推進

新学術領域「サイバニクス」による未来開拓



科学研究費補助金採択件数 (R4年度)

1,379件※1
国内全研究機関中
第8位

※1 日本学術振興会公表資料より

※2 Clarivate Analytics : Research Institutions Ranking In Japan

高被引用論文数 (H22.1.1~R2.12.31)

305件※2
国内全研究機関中
第11位

産学連携の強化

国際産学連携本部の設置 (H26.4)

- ◆ 大学における知的財産に関する業務を一体的に行うとともに、国際的に産学連携を推進するための諸活動を行い、法人の社会貢献を推進
- ◆ 設置により民間共同研究受入額を飛躍的に増進

開発研究センターの開設 (H27.7~)

- ◆ 国際産学連携本部の下に開設
- ◆ 社会還元型の研究を推進し、イノベーション創出を促進するために、外部資金等を事業運営費として、社会的要請の高い学問分野での共同研究開発を積極的に推進、産学官の共同研究体制を構築
- ◆ R5.5.1現在13の開発研究センターを設置

筑波大学発
ベンチャー

活動企業数 = **159社** (R5.5.1現在)
(設立累計数) = **(214社)**

4.筑波大学の教育

医学・体育・芸術も有する総合大学
学際融合・領域横断的な教育システム

教育改革

教員組織



系



教育機能

学士課程
学群・学類

修士・博士課程
大学院学術院・研究
群・学位プログラム

グローバル教育院
(分野横断型の学位プログラム等)

機構・センター
(教育・学生支援)

研究機能

機構・センター
(研究)

戦略イニシアティブ

リサーチユニット
リサーチグループ

①学位プログラム制への移行 (R2.4~)

- ◆ 大学院の8研究科85専攻を3学術院6研究群に再編
- ◆ 6研究群に計56の学位プログラムを編成、従来の専攻の壁を越えて指導

②総合選抜の導入 (R2年度実施入試~)

- ◆ 文系,理系Ⅰ,理系Ⅱ,理系Ⅲといった大きな区分で受験し入学
- ◆ 1年次は学類・専門学類に所属せず、様々な「専門導入的な科目」を受講
- ◆ 自らの希望と、履修した科目・成績・適性に応じて2年次に学類・専門学群へ所属

5.筑波大学の国際交流

国際的な学術交流による学術研究水準の向上、国際的視野を持つ人材の養成

スーパーグローバル大学創成支援事業

- ◆ 文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援事業において「タイプA（トップ型）」に採択
- ◆ 「開かれた大学」から「我が国の高等教育と社会を世界に開き、率先して世界の未来を拓くトランスボーダー大学」への跳躍を目指す

Campus-in-Campus(CiC)構想

科目ジュークボックスシステム

主な取組

海外教育研究ユニット招致プログラム

新たな学位プログラム

海外オフィス

- ◆ 国際連携を推進するため、海外拠点を12か所設置
- ◆ 学術交流の推進、学生交流の支援、優秀な留学生の確保、同窓会ネットワークの構築支援など、さまざまな活動を実施



- ・アーバインオフィス（アメリカ）
- ・アルマトイオフィス（カザフスタン）
- ・クアラルンプールオフィス（マレーシア）
- ・グルノーブルオフィス（フランス）
- ・サンパウロオフィス（ブラジル）
- ・ジャカルタオフィス（インドネシア）
- ・台湾オフィス（台湾）
- ・タシケントオフィス（ウズベキスタン）
- ・チュニスオフィス（チュニジア）
- ・北京オフィス（中国）
- ・ホーチミンオフィス（ベトナム）
- ・ポルドーオフィス（フランス）

6.筑波大学の特色

指定国立大学法人の指定（令和4～9年度）

- ◆ 文部科学大臣が世界最高水準の教育研究活動の展開が相当程度見込まれる国立大学法人を指定
- ◆ 指定を受けた大学は、国際的な競争環境の中で世界の有力大学と伍していくことが期待され、そのための規制緩和として、大学発ベンチャーへの出資が可能となるなどの特例が認められる

地球規模の課題を解決する
『真の総合大学』を目指す



社会の様々な分野におけるトップランナーの輩出



ノーベル物理学賞1965
朝永振一郎
(東京教育大学元学長、名誉教授)
【所蔵：朝永記念室】



ノーベル物理学賞1973
江崎玲於奈
(元学長、名誉教授)



ノーベル化学賞2000
白川英樹
(名誉教授)



永瀬貴規 選手
(写真：築田純/アフロ)



木村敬一 選手
(写真：松尾/アフロススポーツ)



梶原悠未 選手
(写真：望月秀太郎/アフロ)

オリンピックで29、パラリンピックで66のメダルを獲得
(昭和48年以降に本学（附属学校含む）の学生（卒業生・修了生を含む）、教職員が獲得した数)

7.参考



筑波大学
職員採用パンフレット



筑波大学 大学経営推進局
コラム・ピープル